



平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 7 月 26 日

会 社 名 株式会社サトー商会 (JASDAQ・コード番号：9996)
 (URL http://www.satoh-web.co.jp/)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 佐藤正之 TEL (022) 236 - 5600
 責任者役職・氏名 専務取締役管理総務担当 玉根 裕

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

(1)たな卸資産は実地棚卸を行わず、帳簿棚卸により算定しております。

(2)税金調整額に関して、法人税等は法定実効税率を基本とした年間予測税率により計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(1)経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 19 年 3 月期第 1 四半期	11,920	3.0	261	4.6	261	17.7	151	20.6
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	11,574	0.5	250	9.7	317	4.8	190	15.2
(参考)平成 18 年 3 月期	46,588		1,391		1,622		1,163	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成 19 年 3 月期第 1 四半期	16	90	16	87
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	21	27		
(参考)平成 18 年 3 月期	129	27	129	06

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)におけるわが国経済は、原油価格の高騰、金利の上昇など懸念される材料があったものの、堅調な企業収益や雇用情勢の好転、民間設備投資の増加などがみられ、明るさを取り戻してまいりました。

食品業界におきましては、米国産牛肉に象徴される食に関する消費者の関心は高く、また、食品衛生法改正による残留農薬のポジティブリスト制度が導入されるなど、食に対する安全・安心が強く求められてきております。

このような状況のもと当社グループは、お客様に喜んでいただける豊かな食のサービス(より便利で安全で安く、おいしくて美しい)をお届けするとともに、徹底した労務管理による生産性の高い経営に努めてまいりました。また、卸売業部門及び小売業部門の業種別政策の一層の推進を目指し、それぞれの業種に合ったメニュー研究や商品開発の促進、メーカー政策による仕入単価の見直し等を行ってまいりました。なお、投資有価証券の時価評価により評価差額 25 百万円を営業外損失に計上いたしました。

その結果、当社グループの当第 1 四半期における売上高は 119 億 20 百万円(前年同四半期比 3.0%増)、営業利益 2 億 61 百万円(前年同四半期比 4.6%増)、経常利益 2 億 61 百万円(前年同四半期比 17.7%減)、四半期純利益は 1 億 51 百万円(前年同四半期比 20.6%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、製菓・給食・外食・惣菜の各業種において、それぞれの専門性を一層深める営業展開として、有名シェフを講師に実演技術講習会の実施、地域毎に新商品紹介のためのミニ展示会の実施を行ってまいりました。また、メーカー協力のもとメニュー開発・商品開発を進め、新規納入先の獲得、納品アイテムのアップにも繋がりました。

その結果、売上高 105 億 30 百万円（前年同四半期比 3.7%増）営業利益は 3 億 33 百万円（前年同四半期比 1.6%増）となりました。

小売業部門におきましては、業務用食品専門店として業者会員の獲得のため、DMやタウンページ等により積極的にPRに努めるとともに、輸入PB商品を自社ブランド「eラベル」として、重点商品コーナーを設けお客様に支持されました。また、店舗内のキッチンコーナーにおいて実演試食会を毎月二回開催し、お客様とともに魅力ある店作りを行ってまいりました。しかし、前連結会計年度において仙台市内の駅前店及び栃木県のアンテナショップ「ハローキッチン・自治医大前店」を閉鎖したため売上高は下回りましたが、諸経費等の削減効果があり営業利益は増加いたしました。

その結果、売上高 13 億 90 百万円（前年同四半期比 1.7%減）営業利益は 71 百万円（前年同四半期比 5.2%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成 19 年 3 月期第 1 四半期	24,106	14,752	61.2	1,649 72
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	22,869	13,797	60.3	1,542 72
(参考) 平成 18 年 3 月期	23,808	14,726	61.9	1,646 00

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成 19 年 3 月期第 1 四半期	10	118	102	6,152
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	74	30	80	4,813
(参考) 平成 18 年 3 月期	1,124	577	167	6,384

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期末の財政状態につきましては、総資産 241 億 06 百万円（前連結会計年度末比 2 億 98 百万円増）負債の部 93 億 53 百万円（前連結会計年度末比 2 億 72 百万円増）となり、資本の部は 147 億 52 百万円（前連結会計年度末比 25 百万円増）となりました。

また、連結キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

第 1 四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は 61 億 52 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 2 億 31 百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売掛債権等の増加があった一方で、法人税等の支払があったため、10 百万円の使用となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得等により 1 億 18 百万円の使用となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により 1 億 02 百万円の使用となりました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	47,600	1,630	940

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 105円12銭

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、当第1四半期における業績が概ね計画どおり推移しており、現時点では平成18年5月18日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

上記予想につきましては、本資料の発表日現在において当社グループが入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社グループの業績をとりまく経済情勢、市場の動向などにかかわる様々な要因により、記述されている業績予想と異なる可能性があることをご承知おき下さい。

添付資料

- (要約)四半期連結貸借対照表、
- (要約)四半期連結損益計算書、
- (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書、
- セグメント情報

以上

添付資料

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		(参考) 平成18年3月期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1. 現金及び預金	853,406		1,113,975		885,095	
2. 受取手形及び売掛金	5,523,770		5,256,735		5,163,933	
3. 有価証券	5,299,285		3,700,000		5,499,531	
4. 商品	1,869,526		1,825,756		1,775,059	
5. その他	570,529		408,941		500,893	
流動資産合計	14,116,519	58.6	12,305,409	53.8	13,824,514	58.1
固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	2,194,031		2,277,533		2,219,565	
(2) 土地	3,503,770		3,512,291		3,503,770	
(3) その他	191,472		177,632		191,021	
有形固定資産合計	5,889,274	24.4	5,967,457	26.1	5,914,357	24.8
2. 無形固定資産	23,172	0.1	24,253	0.1	23,442	0.1
3. 投資その他の資産	4,077,532	16.9	4,572,350	20.0	4,045,833	17.0
固定資産合計	9,989,979	41.4	10,564,062	46.2	9,983,634	41.9
資産合計	24,106,498	100.0	22,869,471	100.0	23,808,148	100.0
(負債の部)						
流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	7,000,969		6,589,760		6,623,846	
2. 短期借入金	1,035,000		1,035,000		1,030,000	
3. 賞与引当金	411,370		407,939		259,292	
4. その他	633,221		612,785		892,732	
流動負債合計	9,080,561	37.7	8,645,484	37.8	8,805,872	37.0
固定負債						
1. 退職給付引当金	25,855		238,383		25,855	
2. 役員退職慰労引当金	189,959		172,766		185,592	
3. 長期預り保証金	15,623		15,622		15,623	
4. 繰延税金負債	41,765				48,253	
固定負債合計	273,203	1.1	426,771	1.9	275,324	1.1
負債合計	9,353,764	38.8	9,072,256	39.7	9,081,196	38.1
(資本の部)						
資本金	1,405,800	5.8	1,405,800	6.1	1,405,800	5.9
資本剰余金	1,441,680	6.0	1,441,680	6.3	1,441,680	6.1
利益剰余金	11,991,261	49.8	11,062,087	48.4	11,954,824	50.2
その他有価証券評価差額金	100,630	0.4	73,120	0.3	111,193	0.5
自己株式	186,638	0.8	185,473	0.8	186,546	0.8
資本合計	14,752,733	61.2	13,797,214	60.3	14,726,951	61.9
負債・資本合計	24,106,498	100.0	22,869,471	100.0	23,808,148	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)		(参考) 平成18年3月期	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
売上高	11,920,767	100.0	11,574,266	100.0	46,588,920	100.0
売上原価	10,085,705	84.6	9,762,144	84.3	39,026,626	83.8
売上総利益	1,835,061	15.4	1,812,121	15.7	7,562,293	16.2
販売費及び一般管理費						
1. 給料	493,783		497,019		1,937,998	
2. 賞与引当金繰入額	151,234		155,127		259,292	
3. 役員退職慰労引当金繰入額	4,367		3,252		16,078	
4. その他	923,885		906,410		3,957,328	
販売費及び一般管理費合計	1,573,270	13.2	1,561,808	13.5	6,170,698	13.2
営業利益	261,790	2.2	250,313	2.2	1,391,595	3.0
営業外収益						
1. 受取利息	3,955		3,920		120,847	
2. 受取配当金	1,977		2,372		4,022	
3. 持分法による投資利益	9,256		10,639		30,071	
4. 投資有価証券評価差額			35,400		37,903	
5. その他	16,856		16,463		72,779	
営業外収益合計	32,046	0.3	68,796	0.5	265,623	0.6
営業外費用						
1. 支払利息	1,496		1,460		5,802	
2. 賃貸収入原価	5,076				28,878	
3. 投資有価証券評価差額	25,669					
4. その他	32					
営業外費用合計	32,275	0.3	1,460	0.0	34,681	0.1
経常利益	261,561	2.2	317,649	2.7	1,622,537	3.5
特別利益						
1. 固定資産売却益					222,317	
2. 貸倒引当金戻入益	950		26,991		333	
3. 退職給付制度改訂特別利益					238,887	
4. その他	140				3,166	
特別利益合計	1,091	0.0	26,991	0.2	464,705	1.0
特別損失						
1. 固定資産除却損	450		5,181		18,920	
2. その他					1,859	
特別損失合計	450	0.0	5,181	0.0	20,779	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	262,201	2.2	339,459	2.9	2,066,463	4.4
税金調整額	111,053	0.9	149,196	1.3	902,976	1.9
四半期(当期)純利益	151,148	1.3	190,263	1.6	1,163,486	2.5

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	262,201	339,459	2,066,463
減価償却費	46,908	47,294	198,097
退職給付引当金の減少額		6,123	48,112
役員退職慰労引当金の増加額	4,367	3,252	16,078
賞与引当金の増加額	152,077	154,116	5,469
貸倒引当金の増減額(は減少)	950	27,366	661
受取利息及び受取配当金	5,933	6,293	124,869
支払利息	1,496	1,460	5,802
持分法による投資利益	9,256	10,639	30,071
投資有価証券評価差額(は差益)	25,669		37,903
売上債権の増加額	359,837	278,857	185,956
たな卸資産の増減額(は増加)	94,467	132,802	184,172
仕入債務の増加額	377,122	14,051	48,138
その他	13,885	26,977	503,888
小計	385,513	390,133	1,594,082
利息及び配当金の受取額	29,575	20,648	131,975
利息の支払額	1,496	1,468	5,802
法人税等の支払額	424,182	334,653	595,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,590	74,660	1,124,311
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	21,085	8,200	117,262
投資有価証券の取得による支出	101,672	1,867	11,476
その他の投資等	3,848	20,371	706,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	118,909	30,439	577,618
財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	107,311	80,491	160,977
その他	4,908		6,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,402	80,491	167,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	559	62
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	231,935	35,710	1,534,941
現金及び現金同等物の期首残高	6,384,627	4,849,686	4,849,686
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	6,152,692	4,813,975	6,384,627

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当四半期（平成 19 年 3 月期第 1 四半期）

	卸売業部門 （千円）	小売業部門 （千円）	計 （千円）	消去又は全 社 （千円）	連結 （千円）
売上高及び営業利益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	10,530,506	1,390,261	11,920,767		11,920,767
(2)セグメント間の内部売上高					
計	10,530,506	1,390,261	11,920,767		11,920,767
営業費用	10,196,910	1,318,285	11,515,195	143,781	11,658,976
営業利益	333,596	71,976	405,572	143,781	261,790

(注) 1) 事業の区分は、商品の種類・性質、及び販売方法の類似性を考慮し、卸売業部門、小売業部門に区分しております。

2) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 143,781 千円であり、当社の総務・管理部門に係る経費であります。

前年同四半期（平成 18 年 3 月期第 1 四半期）

	卸売業部門 （千円）	小売業部門 （千円）	計 （千円）	消去又は全 社 （千円）	連結 （千円）
売上高及び営業利益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	10,159,699	1,414,567	11,574,266		11,574,266
(2)セグメント間の内部売上高					
計	10,159,699	1,414,567	11,574,266		11,574,266
営業費用	9,831,253	1,346,128	11,177,381	146,571	11,323,952
営業利益	328,446	68,438	396,885	146,571	250,313

(注) 1) 事業の区分は、商品の種類・性質、及び販売方法の類似性を考慮し、卸売業部門、小売業部門に区分しております。

2) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 146,571 千円であり、当社の総務・管理部門に係る経費であります。

(参考) 前連結会計年度(平成18年3月期)

	卸売業部門 (千円)	小売業部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業利益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	40,897,813	5,691,107	46,588,920		46,588,920
(2)セグメント間の内部売上高					
計	40,897,813	5,691,107	46,588,920		46,588,920
営業費用	39,279,243	5,411,758	44,691,002	506,322	45,197,325
営業利益	1,618,570	279,348	1,897,918	506,322	1,391,595

(注) 1) 事業の区分は、商品の種類・性質、及び販売方法の類似性を考慮し、卸売業部門、小売業部門に区分しております。

2) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は506,322千円であり、当社の総務・管理部門に係る経費であります。

【所在地別セグメント情報】

前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間において、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間において、海外売上高がないため該当事項はありません。